

第八回元素化学セミナー・講演会

◆日時◆ 令和5年 6月26日 (月) 15:00 ~ 17:30

◆場所◆ 自然系学系B棟 B601室

広島大学名誉教授 山本 陽介 先生

自分の興味と偶然の発見と
外部要因によって流される研究の面白さ

今まで行ってきた自分の研究を振り返ると、
以下の3種類に分類されるのかな？と思っています。

1. 自分の興味に沿って目的を持って行ってきた研究
(5配位・6配位炭素、三重項カルベン)
2. 偶然の発見からの展開研究
(16π ポルフィリン、低配位ホウ素)
3. 外部要因のために苦肉の策として開始した研究
(超原子価16族硫黄ラジカル電池、一重項カルベン)

この中からいくつか題材を選んでお話ししたいと思いますので、
気楽にお聞きください。



広島大学大学院先進理工系科学研究科助教 Shang Rong 先生

Developments of main-group ligands for Transition Metal
Complexes: a journey of unexpected reactivity...

The ability of main-group ligands to cooperate with the metal ion offers opportunities for rational control and tuning of transition metal (T.M.) reactivity and properties. Our research has centered on design, synthesis, and reactivity of diboron-containing ligands for novel reactivity and properties. We envisioned that more than one reactive boron centers would permit more metal, ligand and substrate interplay during reactions.

典型元素のユニークな配位子をもつ遷移金属錯体の合成と性質に
関する興味深い研究をご講演くださいます。奮ってご参加下さい。



*この講演会は、有機化学特論 (FE14131) (化学学位プログラム) の一部になります。

◆問合せ先◆ 笹森貴裕 (筑波大学数理物質系化学域・TREMS)
029-853-4412、sasamori@chem.tsukuba.ac.jp